

目標達成計画

作成日: 平成29年11月16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	Ⅲ 27	ケアプランの内容と運動するように個別のケア記録の番号式でケアプランが実行できたかの記載は定着してきた。しかし特記事項の部分の記載が少ない状況である。	特変事項、認知症の症状の変化、対応した内容などが特記事項と業務日誌に記載することができる。	・まずは日勤帯・夜間帯に必ずひとつは特記事項を記載する事とし記載するという意識や習慣をつけていく。 ・記載方法や記録が苦手なスタッフにはリーダーが指導する。	6ヶ月
2	Ⅳ 38	ユニット会議で話し合い個別のケアを決めていくという精度は上がってきている。ホーム全体の重度化も急激に進みやれない事も増えてきた。そんなやれない事が増えてきたからこそ個別ケアの重要性が問われ必要であるため、さらなる個別ケアの充実が必要。	個々の入居者様がその人らしい生活が過ごせるようにその方に合った役割や楽しみを見つけていく。それをプランと日々の業務内容に反映させて実際に実行ができる内容にしていく。	・現在も行えているユニット会議で個々の入居者様のQOLの部分の話し合いも精度を上げていく。 ・掃除や洗濯など業務の見直しも日々行いできるだけ入居者様と関われる時間を多く作っていく。	6ヶ月
3	I 13	ホーム全体が急激に重度化してきたため、重度の介護(オムツ交換、トランスファー、入浴)ほ必要性が多くなってきた。軽度の介護経験しかないスタッフが多いため指導しホーム全体のスキルアップが必要。	まずは安全に丁寧に優しいケアが行えるようになること。ボディメカニクスなど基礎も大切にして覚えていく。	・勉強会だけでは状態が全て違う入居者様の介助方法を理解しきれない。朝礼などの時間も使い個々の入居者様の介助方法を指導していく。 ・現場で違うケア、上手くできていないケアなど見られたらその場で指導する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。